



令和4年

# 救急統計

*Emergency Med.serv. statistics 2022*

薩摩川内市消防局

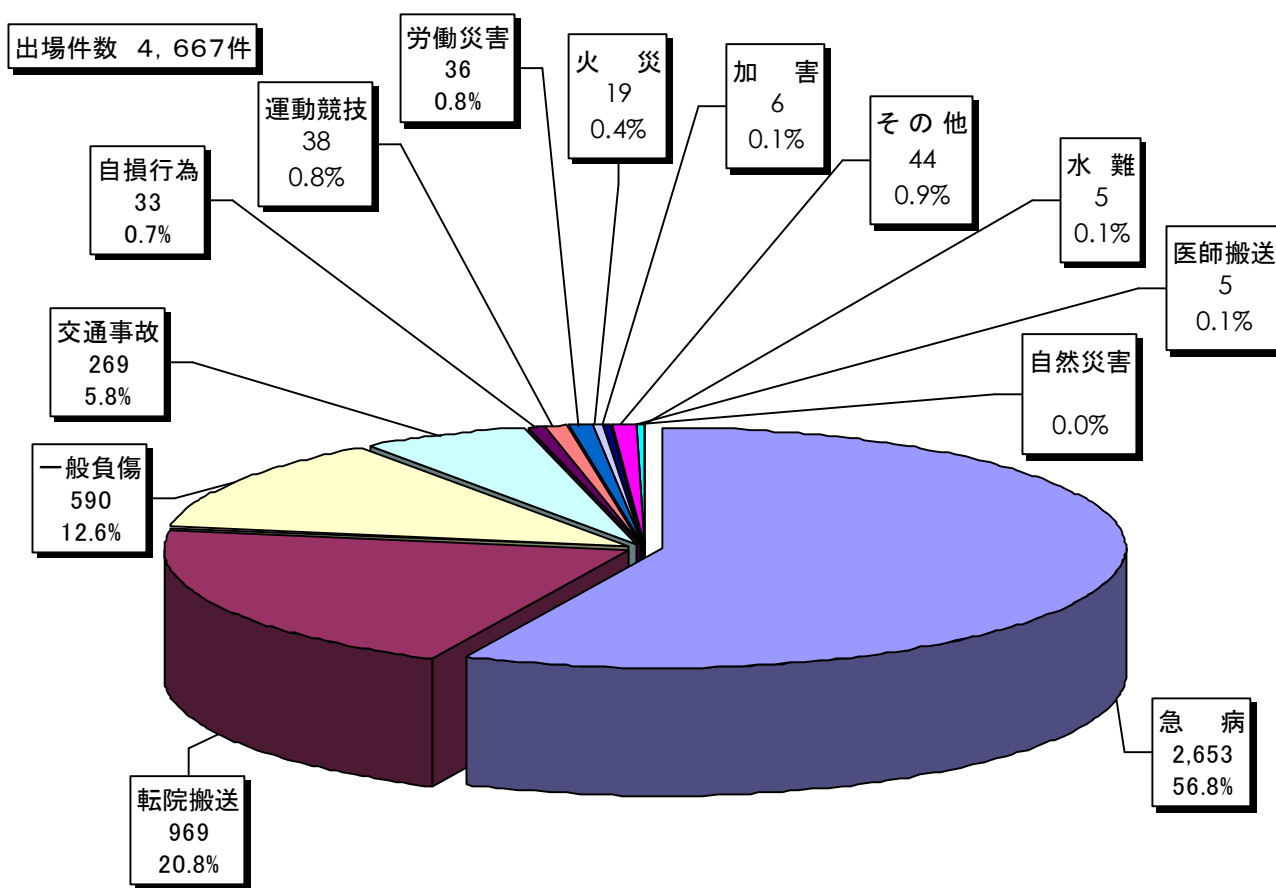
# 目 次

1	救急概要	1
2	救急活動状況	3
	過去10年間の出場状況	4
3	傷病程度別搬送状況	5
4	年齢区分別搬送状況	6
5	地域別出場件数状況	8
6	地域別年齢区分別搬送者の推移	9
7	救急隊別出場件数状況	12
8	現場到着所要時間出場件数状況	13
9	救急隊員応急処置実施件数状況	14
10	救急隊・救急救命士の現況	15
11	住民に対する応急手当普及啓発活動状況	16
12	CPA患者社会復帰状況	17
13	薩摩川内市消防局　ドクターヘリ要請件数	18

# 1 救急概要

## (1) 救急出場件数及び搬送人員

令和4年中は、4,667件出場し、4,145人を搬送しました。これは、昨年と比較して、出場件数は623件の増、搬送人員は516人の増となりました。



## (2) 事故種別及び搬送人員

事故種別では、急病によるものが最も多く2,653件で全体の56.9%を占め、次いで転院搬送の969件(20.8%)、一般負傷の590件(12.6%)、交通事故の269件(5.8%)となっています。

搬送人員でも、急病によるものが多く2,334人で全体の56.3%を占め、次いで転院搬送の928人(22.4%)、一般負傷の545人(13.2%)となっています。

### (3) 搬送医療機関等

医療機関別搬送状況は、救急告示医療機関<sup>※</sup>へ3,206人(77.4%)、その他の医療機関等へ935人(22.6%)を搬送しました。

搬送医療機関先は、管轄内の医療機関へ3,615人(87.2%)、管轄外の医療機関へ530人(12.8%)搬送しました。

※ 救急告示医療機関：救急隊によって搬送される患者を受け入れる医療機関の確保のため、救急医療を行うことを表明している病院・診療所のこと。救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定します。

管内では、川内市医師会立市民病院、済生会川内病院、市比野記念病院(R4.12移転・卓翔会記念病院へ改称)、上村病院、森園病院、高江記念病院、若松記念病院の7医療機関。

### (4) 甑島からの島外搬送

甑島からの島外搬送は、令和4年中に116件(里地域22件、上甑地域50件、下甑地域43件、鹿島地域1件)あり、昨年よ29件の増でした。

島外搬送手段としては、船舶が80件(フェリーニューこしき41件、高速船甑島12件、漁船27件)、ヘリコプターが36件(鹿児島県ドクターヘリ等34件、自衛隊ヘリ1件、県防災ヘリ1件)となっています。

島外搬送における収容先は、鹿児島市へ75件、いちき串木野市へ19件、薩摩川内市へ20件、その他地域2件となっています。

### (5) 救急救命士の処置状況

消防局には45人の救急救命士が勤務していますが、うち気管挿管認定救命士が29人、薬剤投与認定救命士が43人(うちブドウ糖投与・血糖測定認定41人)配置されています。

令和4年中に発生した重度傷病者(心肺機能停止患者)は155人で、76人を医療機関へ搬送し、うち44人に対し特定行為を実施しました。

特定行為の内訳は、気管挿管等35回、静脈路確保(輸液)69回、アドレナリン投与32回、その他血糖測定69回、ブドウ糖投与9回でした。

昨年と比較すると、搬送した重度傷病者は19人増加しています。

## 2 救急活動状況

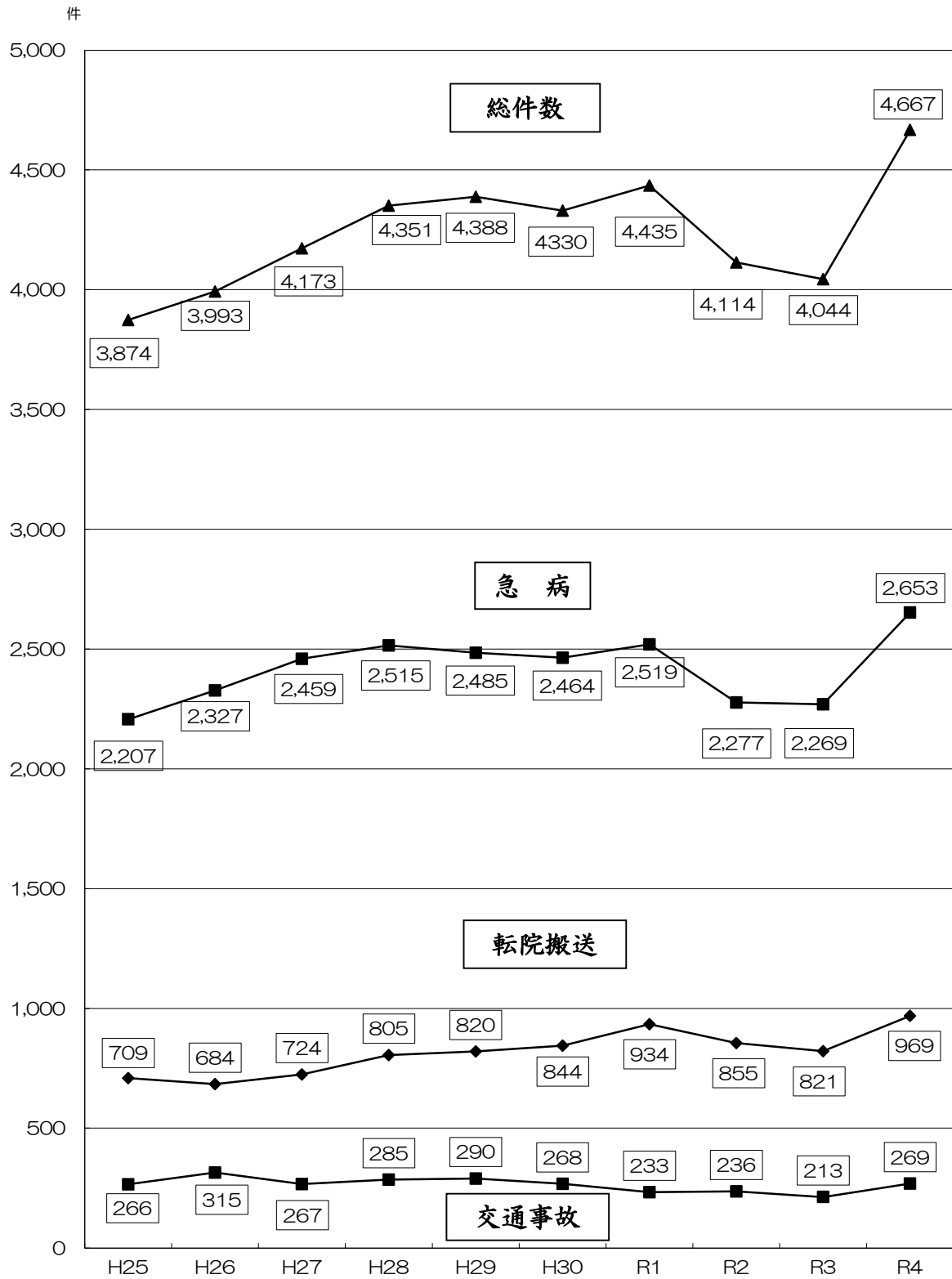
( ) は割合  
前年比、▲は減

事故種別	出 場 件 数				搬 送 人 員				
	4 年	3 年	前 年 比	構 成 比	4 年	3 年	前 年 比	構 成 比	
火 災	19 (0.4)	16 (0.3)	3	0.4%	2 (0.1)	2 (0.1)	0	0.0%	
自然災害	0 (0.0)	1 (0.0)	▲ 1	0.0%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%	
水 難	5 (0.1)	4 (0.1)	1	0.1%	0 (0.0)	1 (0.0)	▲ 1	0.0%	
交通事故	269 (5.8)	213 (4.6)	56	5.8%	234 (5.7)	198 (4.8)	36	5.6%	
労働災害	36 (0.8)	35 (0.8)	1	0.8%	35 (0.8)	34 (0.8)	1	0.8%	
運動競技	38 (0.8)	32 (0.7)	6	0.8%	39 (0.9)	32 (0.8)	7	0.9%	
一般負傷	590 (12.6)	552 (11.8)	38	12.6%	545 (13.2)	511 (12.3)	34	13.1%	
加 害	6 (0.1)	8 (0.2)	▲ 2	0.1%	3 (0.1)	6 (0.1)	▲ 3	0.1%	
自損行為	33 (0.7)	33 (0.7)	0	0.7%	16 (0.4)	17 (0.4)	▲ 1	0.4%	
急 病	2,653 (56.8)	2,269 (48.6)	384	56.8%	2,334 (56.3)	2,040 (49.2)	294	56.3%	
その他	転院搬送	969 (20.8)	821 (17.6)	148	20.8%	928 (22.4)	782 (18.9)	146	22.4%
	医師搬送	5 (0.1)	3 (0.1)	2	0.1%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%
	その他	44 (0.9)	57 (1.2)	▲ 13	0.9%	9 (0.2)	6 (0.1)	3	0.2%
合 計	4,667	4,044	623	100.0%	4,145	3,629	516	100.0%	

深夜帯における出場状況 (23:00 ~ 8:30)

	総件数	うち深夜帯		総件数(転院搬送除く)	うち深夜帯(転院搬送除く)	
令和4年	4,667	950	20.4%	3,698	825	22.3%
令和3年	4,044	863	21.3%	3,223	799	24.8%

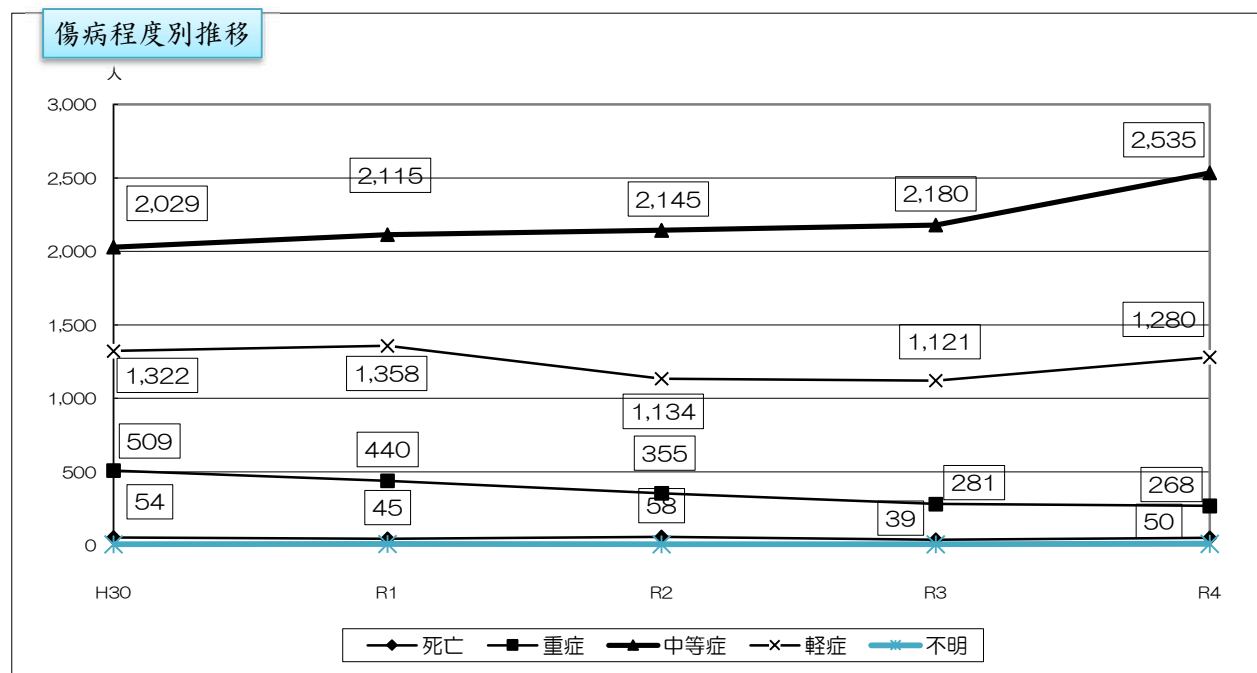
# 過去10年間の出場状況



### 3 傷病程度別搬送状況

事故種別 \ 程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		1	1			2
自然災害						0
水難						0
交通事故		10	83	141		234
労働災害		5	16	14		35
運動競技			13	26		39
一般負傷	3	31	301	207	3	545
加害				3		3
自損行為	1	1	7	7		16
急病	46	120	1,299	866	3	2,334
転院搬送		100	810	12	6	928
その他			5	4		9
合計	50	268	2,535	1,280	12	4,145
構成比(%)	1.2	6.5	61.2	30.9	0.3	100
前年	39	281	2,180	1,121	8	3,629
前年比	11	▲13	355	159	4	516

死亡 死亡と診断されたもの  
 重症 3週間以上の入院加療が必要なもの  
 中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの  
 軽症 軽易で入院を必要としないもの



#### 軽症者搬送割合の推移

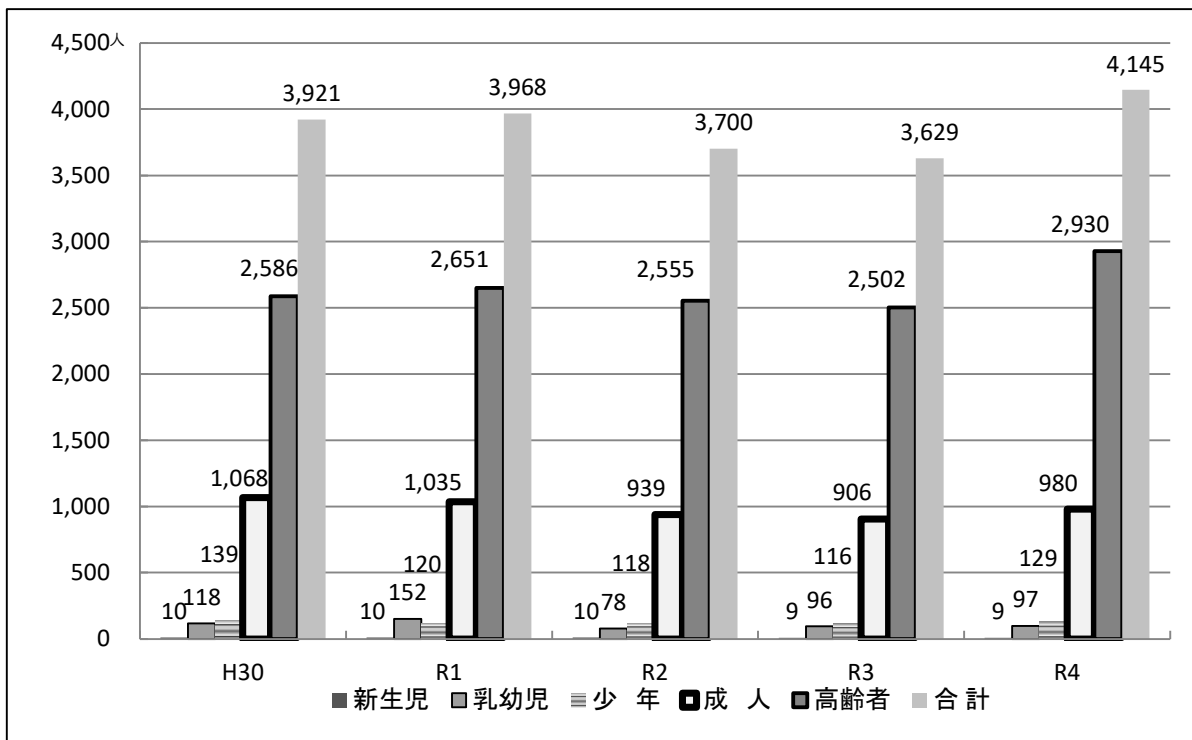
事故種別	年	H30	R1	R2	R3	R4
軽症者の割合	(%)	33.7	34.2	30.6	30.9	30.8
急病		39.1	42.9	35.9	36.4	37.0
交通事故		70.0	66.2	65.3	65.7	60.3
一般負傷		39.5	37.4	39.2	36.4	37.8
その他		3.2	3.1	1.5	2.5	1.7

## 4 年齢区分別搬送状況

事故種別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災					2	2
自然災害						
水難						
交通事故		5	25	124	80	234
労働災害				31	4	35
運動競技			26	9	4	39
一般負傷		20	17	70	438	545
加害				3		3
自損行為				13	3	16
急病	1	70	51	541	1,671	2,334
転院搬送	7	2	10	187	722	928
その他	1			2	6	9
合計	9	97	129	980	2,930	4,145
構成比(%)	0.2	2.3	3.1	23.6	70.7	100
前年	9	96	116	906	2,502	3,629
前年比	0	1	13	74	428	516

新生児 生後28日未満  
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満  
 少年 満7歳以上満18歳未満  
 成人 満18歳以上満65歳未満  
 高齢者 満65歳以上

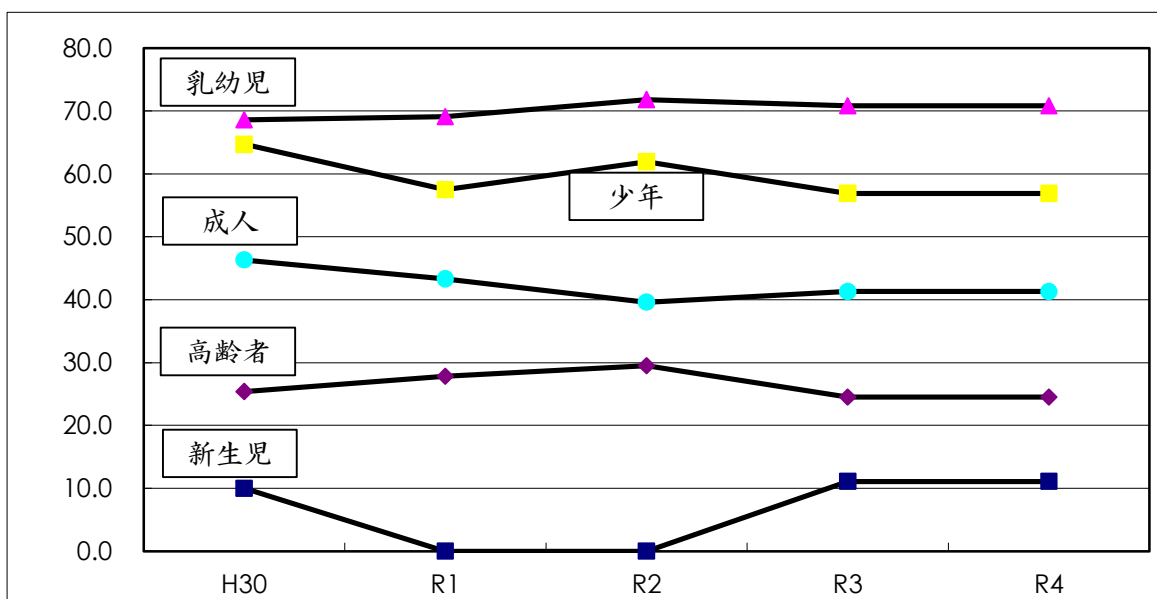
年齢区分別推移



### 年齢区分別軽症者搬送割合推移

(%)

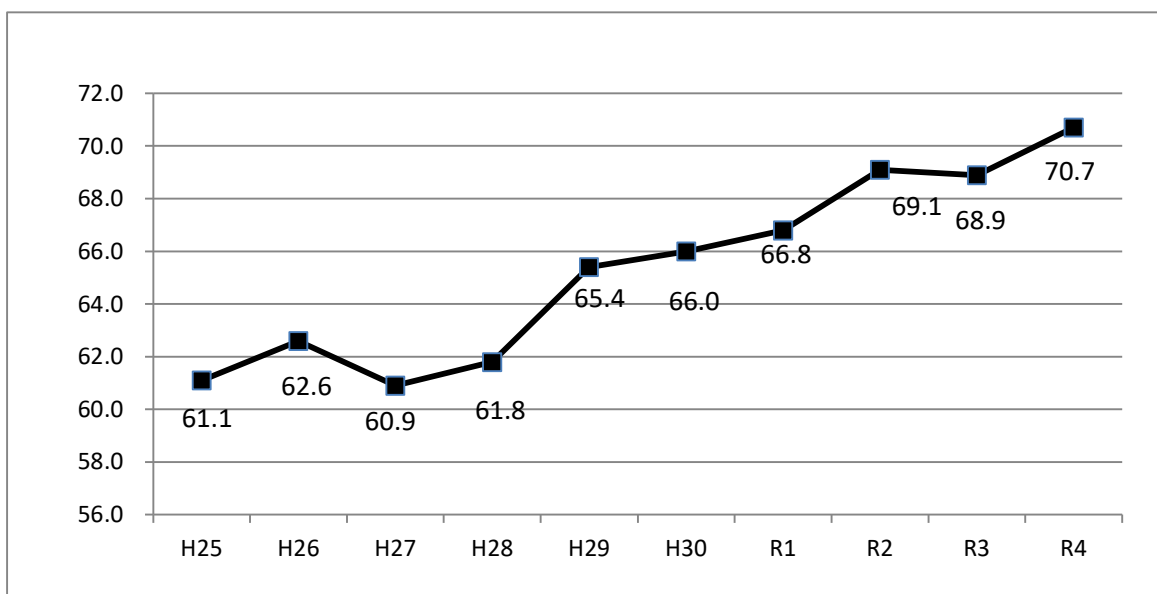
年 区分	H30	R1	R2	R3	R4
新生児	10.0	0.0	0.0	11.1	11.1
乳幼児	68.6	69.1	71.8	70.8	70.8
少年	64.7	57.5	61.9	56.9	56.9
成人	46.3	43.3	39.6	41.3	41.3
高齢者	25.4	27.8	29.5	24.5	24.5
全体	33.7	34.2	30.6	30.9	30.9



### 高齢者の搬送割合推移

※ 高齢者：65歳以上

(%)



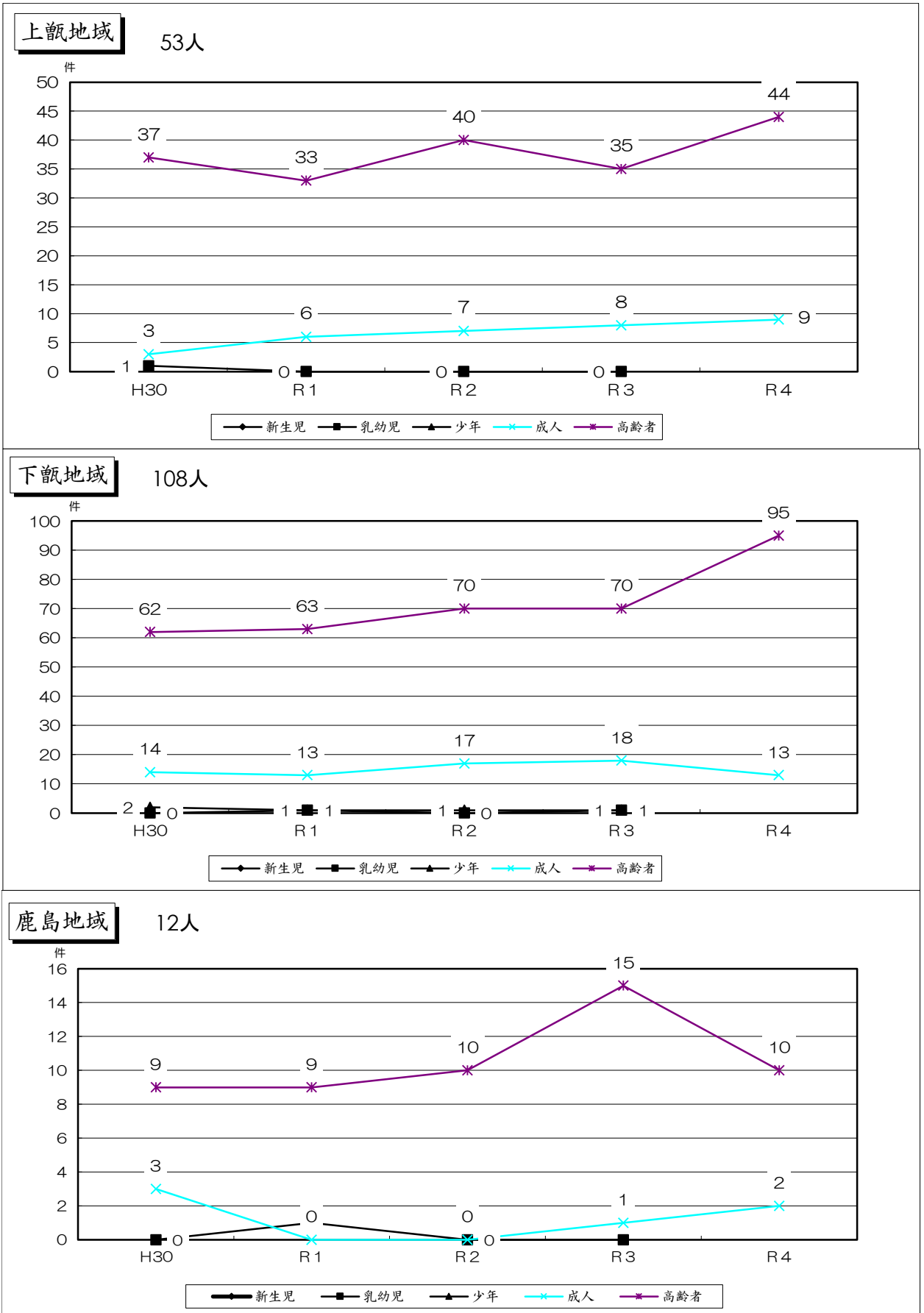
## 5 地域別救急出場状況

( ) は、前年

地域 種別	川 内	樋 脇	入 来	東 郷	祁 答 院	里	上 甌	下 甌	鹿 島	串 木 野	そ の 他	合 計	比 較
火災	9 (6)	4 (3)	3 (2)	1 (1)	1 (3)	1		(1)				19 (16)	3
自然災害								(1)				1	▲ 1
水難事故	4 (3)			1				(1)				5 (4)	1
交通事故	208 (142)	16 (18)	10 (26)	17 (17)	10 (5)		2 (1)	1 (2)	1		4 (2)	269 (213)	56
労働災害	24 (23)	2 (1)	2 (2)	1 (2)	6 (3)	1	(1)	(3)				36 (35)	1
運動競技	20 (20)	13 (9)		4 (1)	(1)		1	(1)				38 (32)	6
一般負傷	401 (361)	42 (58)	45 (42)	28 (30)	31 (33)	5 (5)	11 (7)	21 (14)	1	5 (2)		590 (552)	38
加害	6 (7)		(1)									6 (8)	▲ 2
自損行為	23 (25)	2 (1)		5 (4)	2 (3)				1			33 (33)	0
急病	1,835 (1,557)	221 (158)	178 (186)	137 (98)	117 (126)	23 (25)	45 (39)	65 (56)	9 (11)	22 (13)	1	2,653 (2,269)	384
転院搬送	775 (643)	50 (43)	12 (10)		5 (12)	23 (17)	30 (21)	43 (42)	2 (7)	29 (26)		969 (821)	148
その他	40 (51)	2	1 (3)	1 (1)	(1)	4 (3)		1 (1)				49 (60)	▲ 11
合計	3,345 (2,838)	352 (291)	251 (272)	195 (154)	172 (187)	57 (50)	89 (69)	131 (122)	14 (18)	56 (41)	5 (2)	4,667 (4,044)	623

※ その他・・・傷病者不搬送件数のうち、救急事故種別に分類されないもの

## 6 地域別年齢区分別搬送者の推移(3/3)



7 救急隊別出場件数状況

救急隊 事故種別	中 央 署					東 部 署	分 部 署 院	西 部 署	合 計	P A 連 携					合 計						
	小 計	中 央 署	南 部 分 署	上 部 分 駐 所	下 部 分 駐 所					中 央 署	南 部 分 署	東 部 署	分 部 署 院	西 部 署							
火 災	11	5	5	1		8			19							1	2	2			
自然災害																					
水 難	2	1	1					3	5												
交 通	200	76	120	2	2	25	16	28	269	7	14	5		2	28	40	8	43	17		
労働災害	15	6	8	1		6	5	10	36	1				1	2	8	3	5	1		
運動競技	23	13	9	1		13		2	38	1	1	1			3	6	13	1			
一般負傷	403	152	213	16	22	96	28	63	590	10	7	6	3	1	27	67	1	38	72	37	
加 害	5		5					1	6							5	1	1			
自損行為	24	12	11		1	3	2	4	33	3	3				6	4	5	6			
急 病	1,853	667	1,044	69	73	419	131	250	2,653	56	102	47	11	23	239	##	##	##	##		
そ の 他	転院搬送	800	380	322	55	43	74	14	81	969						##	61	##	40		
	そ の 他	42	13	24	4	1	3		4	49		1			1	6	3	10	7		
合 計 (前年)		3,378	1,325	1,762	149	142	647	196	446	4,667	78	128	59	14	27	306	24	40	14	7	##
		(2,921)	(1,120)	(1,542)	(121)	(138)	(579)	(193)	(351)	4,044	83	139	48	15	32	317					
構 成 比 (%)		72.4	28.4	37.8	3.2	3.0	13.9	4.2	9.6	100											

ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出場するものであり、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。  
 ※ P A 連携  
 心肺停止患者等の重篤な患者の現場や山中等の搬送困難な現場において、救急活動を実施する人員を増やすことにより、応急手当や救急車までの搬送時間を短縮し、救命率を上げることが目的として、救急車に加えてポンプ車などの消防車を同時に出場させています。



## 8 現場到着所要時間別出場件数状況

※現場到着時間

消防の覚知時刻（119番入電時刻）から、現場に到着するまでの時間をいう。

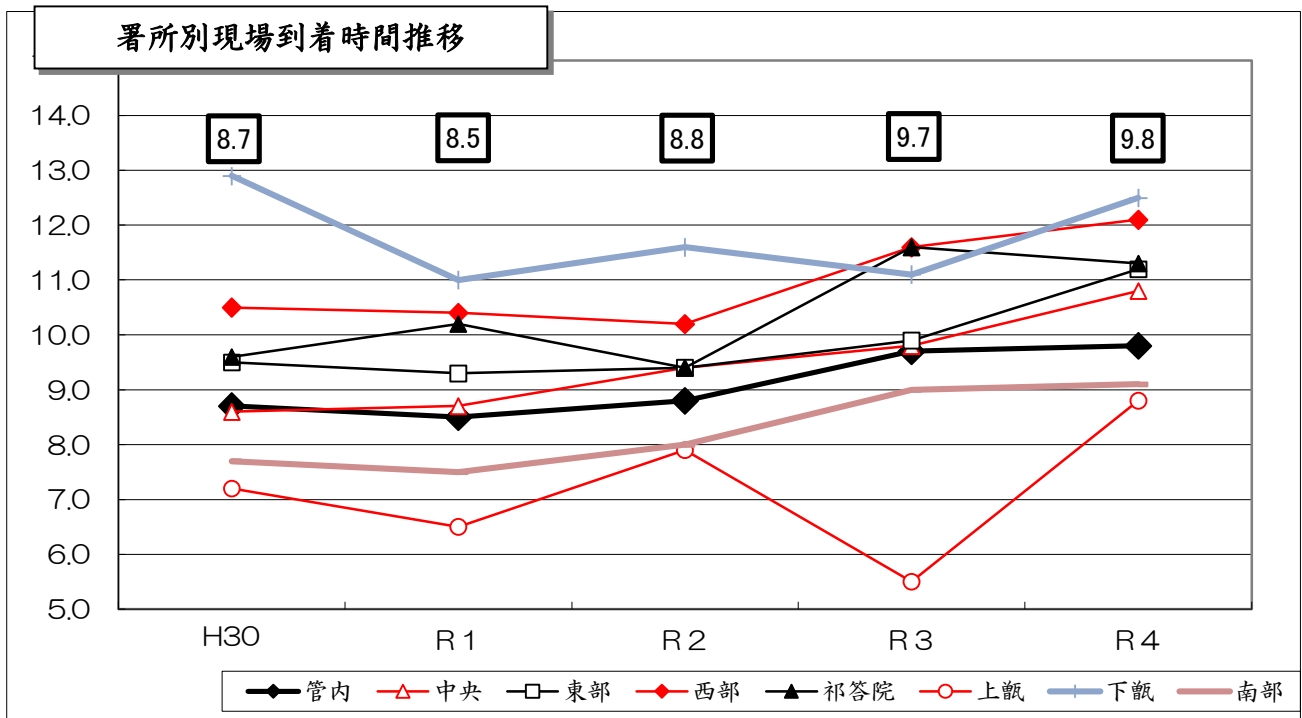
事故種別 到着時間	急病	交通	一般負傷	その他	計
3分未満	29	2	10	107	148
3分以上 5分未満	126	22	39	203	390
5分以上 10分未満	1,343	140	289	526	2,298
10分以上 20分未満	1,039	91	230	288	1,648
20分以上	116	14	22	31	183
計	2,653	269	590	1,155	4,667
現場到着 最短所要時間	1分未満	1分未満	1分未満	1分未満	
現場到着 最長所要時間	※1 41分	※2 46分	※3 33分	※4 55分	
現場到着 平均所要時間	10.4分	10.2分	10.2分	8.2分	9.8分

※1 他署管轄区域内への出場要請

※2 他署管轄区域内への出場要請

※3 管轄署の遠隔地からの出場要請

※4 管轄署の遠隔地からの出場要請



※□枠は、消防局現場到着時間

## 9 救急隊員応急処置実施件数状況

応急処置		事故種別				合計	前年	前年比	
		急病	交通事故	一般負傷	その他				
止	血	12	10	46	7	75	71	4	
固	定	3	40	32	15	90	108	▲ 18	
心	肺	69	2	7	2	80	60	20	
酸	素	404	8	19	250	681	564	117	
気	道	53	1	2	8	64	74	▲ 10	
ただし、※1,2,3を除く									
保	温	33	1	6	12	52	57	▲ 5	
被	覆	9	49	113	16	187	166	21	
除	細	9			1	10	6	4	
動									
在	宅	6		1		7	12	▲ 5	
療	法								
継	続								
※1	経	5				5	3	2	
鼻	エ								
ア	ウ								
エ	イ								
咽	頭					0	2	▲ 2	
鏡	・								
鉗	子								
シ	ョ					0	0	0	
ッ	ク								
パ	ン								
ツ									
血	圧	2,155	215	503	963	3,836	3,437	399	
測	定								
聴	診	391	41	29	46	507	661	▲ 154	
器	に								
よ	る								
心	音								
・	呼								
吸	音								
等	聴								
取									
血	中	2,243	225	522	1,012	4,002	3,509	493	
酸	素								
飽	和								
度	測								
定									
心	電	1,646	87	224	523	2,480	2,406	74	
図									
特	静	CPA前	5		2	4	11	7	4
		CPA後	43		5	1	49	27	22
	※2	ラ	8				8	3	5
	リ	ン							
	ゲ	ア							
	ル	マ							
ス	ク								
等									
※3	気	20	1	5	1	27	23	4	
管	挿								
管									
薬	剤	25		5	2	32	21	11	
投	与	9				9	6	3	
ア	ド								
レ	ナ								
リ	ン								
ブ	ド								
ウ	糖								
血	糖	66		1	2	69	73	▲ 4	
値	測								
定									
そ	の	2,253	223	529	979	3,984	3,491	493	
の	他								
の	応								
急	処								
置									
処	置	2,330	232	545	1,022	4,129	3,626	503	
人	員								
構	成	56.4	5.6	13.2	24.8	100.0			
比	(%)								

※ 静脈路確保（CPA前）、血糖値測定、薬剤投与（ブドウ糖）については、平成28年から有資格者が誕生したことによる。

# 10 救急隊・救急救命士の現況

【令和5年1月1日現在】

## (1) 救急隊・救急救命士の配置状況

所 属	救急隊数	救急救命士数	備 考
消 防 本 部		4	警防課2 通信指令課1 出向1 (通信指令事務協議会)
中央消防署	1	10(3)	
南 部 分 署	1	9	
上 甑 分 駐 所	1	2	
下 甑 分 駐 所	1	2	
東 部 消 防 署	1	7	
祁 答 院 分 署	1	4	
西 部 消 防 署	1	7	
合 計	7	45(3)	

※ ( ) はうち女性

## (2) 救急救命士の資格認定状況

資 格	認定者	備 考
救急救命士	45(3)	
気管挿管	29	
ビデオ喉頭鏡※	27	
静脈路確保(輸液)	43(2)	
心肺停止前実施※	41(2)	
薬剤投与(アドレナリン)	43(2)	
血糖測定・ブドウ糖投与※	41(2)	
指導救命士講習修了	5	認定者 4名

※2名の救急救命士については、未認定 (R5.1.1現在)

※については、平成26年4月1日救急救命士法改正に伴い、処置拡大が図られた。

# 1 1 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

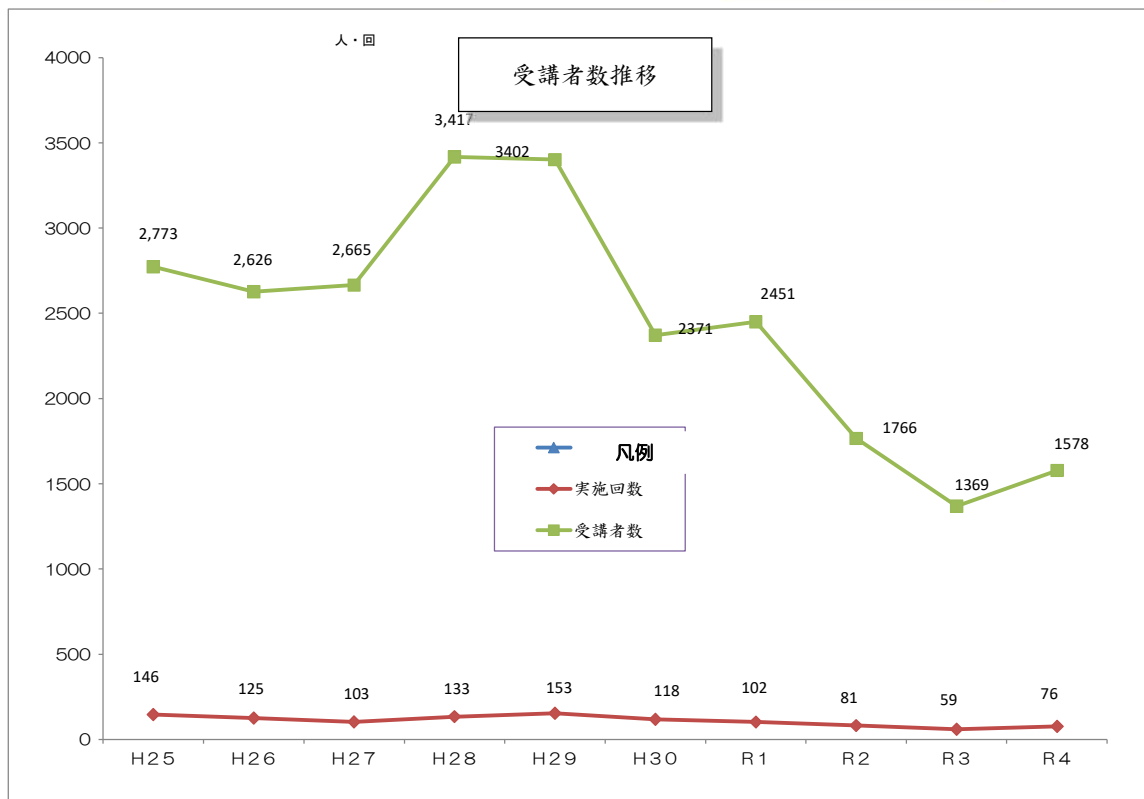
		H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
実施回数		146	125	103	133	153	118	102	81	59	76
受講者数		2,773	2,626	2,665	3,417	3,402	2,371	2,451	1,766	1,369	1,578
累 計		23,456	26,082	28,747	32,164	35,566	37,937	40,388	42,154	43,523	45,101
受講割合	全市民	22.3%	24.8%	27.4%	30.6%	33.9%	36.1%	38.5%	40.1%	41.5%	43.0%
	初回受講者	60%	77%	76%	79%	73%	74%	72%	73%	85%	85%

※ 累計については、平成10年からの受講者数【受講割合については、合併時人口約105,000人で算定】

※ 平成17年から、AEDを含む講習会を開催



複数回受講者数	
2回目	4296人
3回目	1571人
4回目	502人
5回目	236人
6回目	124人
7回目	65人
8回目	42人
9回目	23人
10回目	22人
11回以上	10人



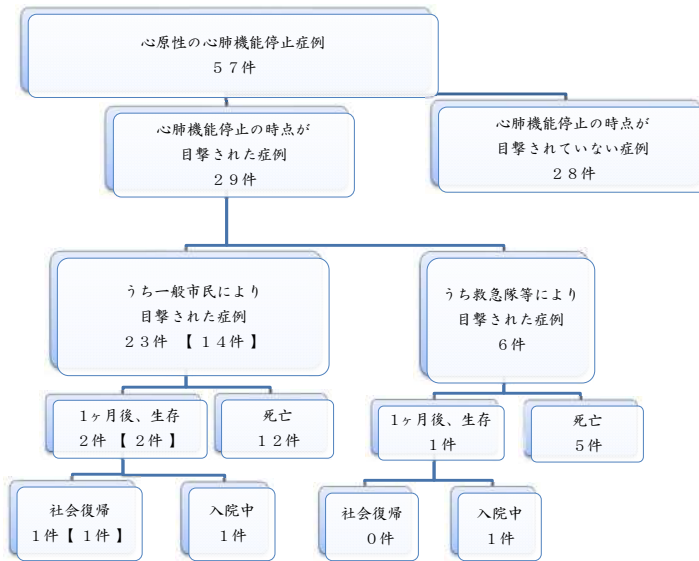
1.2 CPA患者社会復帰状況

区分	年																		
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
CPA患者数(人)	72	84	66	98	77	78	86	110	105	71	88	88	77	83	90	77	68	63	76
バイスタンダー数(人)	11	27	24	42	31	36	29	42	44	26	38	45	45	58	44	22	28	30	38
バイスタンダーCPR実施率(%)	15.3	32.1	36.4	42.9	40.3	46.2	33.7	38.2	41.9	36.6	43.2	51.1	58.4	63.8	71.4	69.7	50.0	70.0	55.3
CPR口頭指導(件)	—	27	11	24	32	41	32	48	54	33	45	42	42	56	60	34	34	29	35
CPR実施率(%)	—	59.3	81.8	62.5	56.3	58.5	43.8	58.3	64.8	57.6	66.6	83.8	66.7	66.1	58.3	69.7	79.4	89.7	50
一か月率(%)	0.0	0.0	9.1	17.3	14.3	12.8	20.9	19.1	19.0	19.7	15.9	23.9	27.3	12.5	13.3	6.4	7.4	25.4	13.2
社会復帰者(人)	0	0	3	6	6	4	2	4	2	2	0	4	1	6	5	3	3	1	1
社会復帰率(%)	0.0	0.0	4.5	6.1	7.8	5.1	2.3	3.6	1.9	2.8	0.0	4.5	1.3	7.2	5.6	3.9	4.4	1.5	1.3

\* CPA・・・CardioPulmonary Arrestの略で、心肺停止のことをいう。  
 \* CPR・・・CardioPulmonary Resuscitationの略で、心肺蘇生法のことをいう。  
 \* バイスタンダー・・・救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)。  
 \* 社会復帰・・・心肺停止により救急搬送された人が、回復により歩いて退院したことをさす。

心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率及び1ヶ月後社会復帰率

※ 心原性：心停止の原因が心疾患によると推定されるもの



※ 【 】内は、各項目のうちバイスタンダーによるCPRが実施された症例

平成18年からの状況

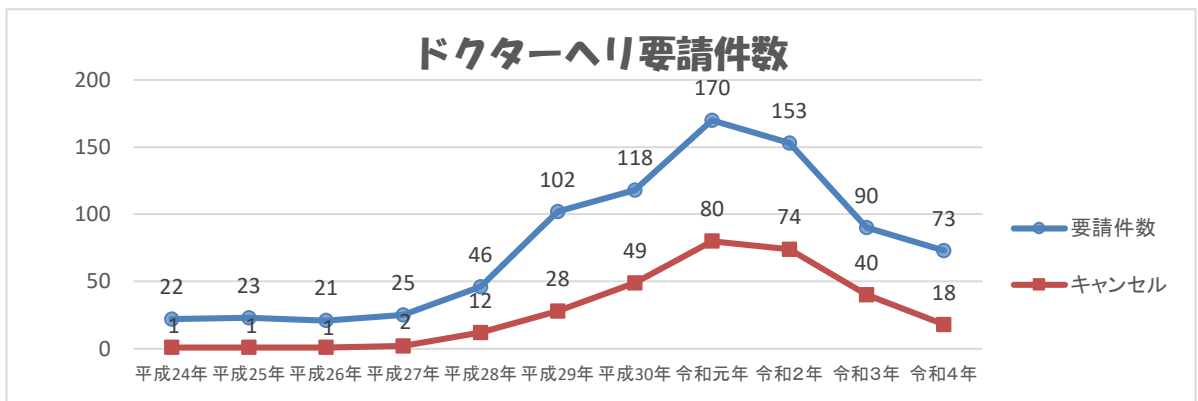
区分	年																		
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
心原性の心肺機能停止症例(件)	47	30	51	46	35	46	54	62	44	58	58	42	44	63	52	53	34	57	
心肺機能停止の時点が目撃された症例	17	15	21	15	17	20	26	17	21	32	25	20	22	29	19	18	16	29	
うち一般市民により目撃された症例	12	12	19	12	15	15	21	12	19	27	19	16	21	25	14	14	13	23	
1ヶ月後生存(人)	0	1	4	3	1	3	5	3	3	2	2	1	4	4	2	1	1	2	
生存率(管内%)	0.0	8.3	21.1	25.0	6.7	20.0	23.8	25.0	15.8	7.4	10.5	6.3	19.1	16.0	14.3	7.8	7.6	8.6	
生存率(全国%)	7.2	8.4	10.2	10.4	11.4	11.4	11.4	11.5	11.9	14.8	13.0	11.7	13.5	17.5	17.3	15.2	11.1	-	
うち救急隊等により目撃された症例(件)	5	3	2	3	2	5	5	5	2	5	6	4	1	4	5	4	3	6	
1ヶ月後生存(人)	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	
生存率(%)	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0	25.0	20.0	0.0	0.0	16.7	
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例(件)	30	25	30	31	18	26	39	45	23	26	33	22	22	34	33	34	32	28	

13 薩摩川内市消防局 ドクターヘリ要請件数

運航開始 ～ R4.12.31 現在

年次	総件数	転院搬送		交通事故		急病		労働災害		一般負傷		その他		キャンセル	
		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島	
平成25年	23	14	8	1		2		2	1	3				1	
		リターン		1		1		1	1	2					
		Jターン					1	1		1					
		Iターン							1						
平成26年	21	10	6	5		3				2	1			1	
		リターン		3		1	1			1					
		Jターン		2		2	1			1	1				
		Iターン													
平成27年	25	10	5	3		5		2		3				2	
		リターン		3		1	1		2	1					
		Jターン				3	1			1					
		Iターン				1				1					
平成28年	46	13	8	5		7		6		3				12	
		リターン		3		3	1		5	1					
		Jターン				2			1	2					
		Iターン		2		2				2					
平成29年	102	19	11	12		22		10	2	9		2		28	1
		リターン		10		17	3		7	2	2		1		
		Jターン				1			1						
		Iターン		2		4		2		7		1			
平成30年	118	18	7	8		20		6		14	1	3		49	
		リターン		3		13	4		4	1	2				
		Jターン		2		2				3					
		Iターン		3		5		1		5		1			
令和元年	170	29	16	7		39		5		9		1		80	3
		リターン		4		13	1		4	4	1				
		Jターン		1		6	2			2					
		Iターン		2		20	1	1		3					
令和2年	153	20	14	6		33		4		13	1	3		74	1
		リターン		4		16	4	1	4	1	2				
		Jターン		2		6	1	2	1	4					
		Iターン		4		11		1		5		1			
令和3年	90	20	15	4		14		6	3	5		1		40	3
		リターン		3		3	1	5	2	3					
		Jターン				3		1	1	1					
		Iターン		1		8				1		1			
令和4年	73	24	17	6		11		4		9		1		18	
		リターン		4		6	2	2	2	5		1			
		Jターン				2		2							
		Iターン		2		3				4					

Uターン：ドクターヘリが基地病院(鹿児島市立病院)に搬送した場合  
 Jターン：ドクターヘリが基地病院(鹿児島市立病院)以外に搬送した場合  
 Iターン：ドクターヘリに収容せず、救急車で搬送により医療機関対応となった場合



※ 平成23年12月から鹿児島県ドクターヘリ運航開始

『救急車が到着するまで・・・この手で救える、あなたの命。』

Satsumasendai city Fire Dept.